

ふくしま

再生 短信

2021/9/7 菅野宗夫さん・千恵子さん訪問

共に生きる営農

二〇二一年九月七日午後、飯館村佐須の菅野宗夫農園を訪

2 問。田圃は



ずつし
りとし
た重い
稲穂が
見渡す



3 あまり効
果を期待
できない
のだが。
佐須米
ファンの
一人とし

茎の負担は増す一方、倒伏の危険を防止する必要がある。もつとも防止剤は

「宗夫さくん」。ミゾカ

実施された現
場だ。極上の胡瓜がたわわに実る(写真6)。所望した一本。爽やかな風が我が身の中に心地よく広がる。



限り広がりをもせていた(写真1)。美田

に感嘆。ちょうど宗夫さんは薬剤散布の最中(写真2)、訪問をお願いしており直ぐに畦道に出てきてくださった(写真

て米作りの見えな
い苦勞の一端を改
めて知ることと
なつたのです。

3)。散布して

いたのは稲の倒伏防止剤とのこと。この時期稲

二千二
十年から
ヒトメボ
レに移行
した。前
のコシヒ
カリも一
部残して
対照試験を実施している、田圃の真



穂は
重く
なる
ので

院・溝口勝教授の大声

メことりモート研究システムが双方向に進化していた(写真4)。見学を希望した事業用ハウスへ(写真5)。何度か若い皆さんとのセミナーも



1 ここで宗夫さんの営農観を伺う。「営農はひとりでは成し得るものではない」「営農の仲間がいてこそ」の世界なのだ。共に生きる世界。「千恵子あつての今」という宗夫さんの今日の言葉がミラクルの青空に飛翔した(写真7)。

(文責&撮影・若林二平)

